

障がい種	設置学部等					訪	寄
	幼	小	中	高	専		
視覚障がい	○	○	○				○



《学校教育目標》

視覚障がい等による学習上又は生活上の困難を主体的に改善・克服するために必要な知識、技能、態度及び習慣を養う教育活動を創意工夫し、幼児児童生徒一人一人のもつ能力や可能性を最大限に伸ばし、自立し社会参加するための「生きる力」を育む。

《校訓》

明るく  
優しく  
たくましく

《学校運営方針》

学校教育目標を実現するために、適切な役割分担と相互連携により、チームとしての協働体制を確立し、学校評価と関連付けながらカリキュラム・マネジメントを組織的かつ計画的に推進し、教育活動の質の向上を図る。



元気仲間 輝け！ 六つの星！

《目指す学校像》

- 子ども(安心・自己肯定)
- 教師(充実)
- 家庭・地域(信頼)

《目指す子ども像》

- 進んで学ぶ子ども
- 思いや考えを伝える子ども
- 周りによりよく関わる子ども

《目指す教師像》

- 子どもを理解し、個別最適な学びを追求する教師
- 連携・協働できる教師
- 自己研鑽に努める教師

重点目標 と 具体的方策

I 「確かな学び」の育成

- ・学習の基礎基本の定着
- ・人やものへの興味・関心
- ・日常生活スキルの向上
- ・ICT機器の活用
- ・経験の拡充

- ①読み・書き・計算等の基礎学力の定着を図る取組や読書活動の推進〈学部・教務〉
- ②教科の目標を明確にした「合わせた指導」の見直しと実践〈学部・教務〉
- ③自立活動の指導の充実〈研修・学部〉
- ④主体的に学べる教材・教具の工夫や環境設定(ICT活用含む)〈情報・支援・研修・舎〉
- ⑤チャレンジ活動の設定「鍛ほめ福岡メソッド」〈学部〉

II 「コミュニケーション力(関わる力)」の育成

- ・ことばの理解や聞く力
- ・年齢や実態に応じた表現(ことば・サイン・行動・態度)
- ・集団や社会との関わりへの拡充

- ①キャリア発達に基づくコミュニケーション面や対人関係スキルの指導〈進路・学部・舎〉
- ②目標や実態に応じたグループ活動の工夫〈生徒・学部・舎〉
- ③学習や体験したことを言葉や文章等で表現する機会の設定〈学部・生徒・舎〉
- ④交流及び共同学習の効果的な実施〈学部〉
- ⑤一人一人のよさや違いを認め合う集団づくりの推進〈人権・各部〉

III 個別最適な学びの推進のための指導体制の確立

- ・指導の連携や情報共有
- ・教科間の連携
- ・系統性を踏まえた計画的な指導
- ・授業や評価の改善

- ①連携や情報共有のための効果的な会議の設定や工夫〈学部・舎〉
- ②指導の系統性や、カリキュラム・マネジメント推進のための個別の指導計画等の活用及び評価の改善〈教務・舎〉
- ③全体計画に基づいたキャリア教育や性に関する指導、食育の充実〈進路・保健・学部〉
- ④進学先や福祉施設等との連携による進路指導の充実〈進路・学部〉
- ⑤外部専門スタッフ等の活用・連携による指導力の向上〈研修・舎〉

IV 視覚障がい教育の専門性向上と人材育成

- ・障がいの理解と実態把握に基づく指導
- ・指導技術向上
- ・協働や人材育成の促進
- ・HP等による情報発信

- ①課題やニーズに応じた計画的な研修の実施〈研修・全職員〉
- ②ICTの活用スキルの向上を図るための研修の充実と情報共有の工夫〈情報・支援・研修・学部〉
- ③センター的機能の充実〈支援〉
- ④HP等による本校や視覚障がい教育に関する情報発信〈情報・学部・舎〉
- ⑤OJT(OJLタイム等)の推進〈全職員・OJT推進委〉

V 安心・安全な環境づくり

- ・安心して学べる・働ける環境づくりの推進
- ・安全管理や危機への対応
- ・関係機関との連携

- ①一人一人の障がいの状況等に応じた保護者・医療等との連携〈保健・学部〉
- ②PTA及び奨学後援会との連携の充実〈庶務・全職員〉
- ③危機管理マニュアル及び情報管理規定の定期的な改善〈生徒・情報・保健・全職員〉
- ④SC, SSとの効果的な連携によるいじめや悩みを見逃さない環境づくり〈保健・生徒・学部・舎〉
- ⑤事務室との連携による安全に学べる環境整備と効果的な予算運用(事務・保健・全職員)

校内体制の整備

- 分掌間の協働・連携 ○自己評価表の目標設定と管理〈全職員〉○職場環境整備・タイム・マネジメント〈全職員〉
- 「働き方改革」推進・業務内容等見直し〈働き方改革推進委員会〉○風通しのよい職場づくり〈管理職〉